

**KASAI データバンク** 人口 / 49,496 (-53) 世帯数 / 16,905 (+25)  
 H20.4.30 現在 (前月比) 男 / 24,007 (-14) 女 / 25,489 (-39)  
 4月の出生数 / 23人 死亡数 / 44人

## 文部科学大臣へ要望

4月23日、中川市長と八巻教育長は、渡海文部科学大臣を訪ね、加西市の公教育の現状や、学校・給食センターなどの施設建て替えなどについて要望しました。

同日、池坊副大臣や井上衆議院議員にも同じ要望書を届け、バックアップをお願いしました。



▲ 渡海文部科学大臣 (中央)



▲ 井上衆議院議員 (左)

## 平成20年度 読書活動優秀実践校表彰

北条東小学校が平成20年度の読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞しました。文部科学大臣賞を受賞した小学校は全国で76校ですが、兵庫県では唯一の受賞となりました。



表彰状を持つ本玉校長 ▶



▲ 1セットは5枚入り。羅漢寺等で販売中

## 五百羅漢の絵葉書

北条まちづくり協議会では、このたび北条小学校の子どもたちが作った五百羅漢の版画を使い、絵はがきを作製しました。絵はがきになったのは、6年生20人が5年生の時に作った版画。様々な表情の石仏が多様な色合いで生き生きと表現されています。

同協議会は絵はがきを通じて、子供たちにふるさとの風景を再発見してもらい、少しでも町の活性化に繋がりたいと期待しています。



▲ 森林基幹道笠形線開通記念除幕式典にて

## 森林基幹道が開通

4月27日、森林基幹道笠形線の開通記念除幕式が市川町内の現地で行われました。昭和51年着工以来、32年の歳月を経て全線開通。地元としては、不法投棄の場とならないよう、しっかりと活用していくことを確認しました。



▲ 加西東産業団地連絡協議会設立総会。会長の森川氏



▲ 加西南産業団地連絡協議会設立総会。会長の小谷氏

## 新時代の産業団地をめざして

加西市内の産業団地に立地する企業が、良好な生産環境を保全し、新時代の産業団地の形成に努めることを目的に、加西南産業団地連絡協議会と加西東産業団地連絡協議会が各々設立されました。現在、契約済み企業を含めると、南産業団地には17社が、東産業団地には14社が入居しており、立地率はともに78%となっています。

南産業団地で操業中の(株)ゼンショーの食品工場を視察する中川市長 (中央) ▶



## 関西大学と地域連携協定を締結

加西市は、関西大学との間で、教育・文化の振興や人材育成など、さまざまな分野で相互に協力することで合意し、4月16日、地域連携協定を締結しました。

調印式では中川市長が、市民にわかりやすい公会計の導入、CO2削減に向けた環境対策、ふるさと振興のための新たな地域活性化策などについての協力を依頼。今後、活力ある地域づくりのための具体的な取組みを進めていきます。



▲ 関西大学で行われた調印式。河田学長 (右)



▲ 屋根瓦吹き替え中の法華口駅

## 法華口駅「屋根瓦のふき替え」

北条鉄道の法華口駅(東笠原町)で、屋根瓦のふき替え作業が行われました。同駅の屋根は、平成16年9月に発生した台風16号・18号により屋根の一部が破損。財政難のため修理ができず、これまでビニールシートに覆われていました。費用と環境に考慮し、瓦はリサイクル品を使い、作業は北条鉄道の社員・市職員・ボランティアが行いました。

## 古法華の春祭り

4月13日、古法華の春祭りが古法華自然公園内の古法華寺(石仏アトリエ館横)で開催されました。白鳳時代に造られた日本最古の石仏(国指定文化財)のご開帳、神楽(浦安)の舞や、無病息災・家内安全を祈願しての大護摩供養などが古式ゆかしい衣装の巫女や山伏の皆さんにより執り行われました。



▲ 巫女さんによる神事



▲ フィリピンの酪農について語る小路さん

## 青年海外協力隊 帰国後の表敬訪問

4月7日、青年海外協力隊員の獣医師としてフィリピンに派遣されていた小路亜紀さん(東剣坂町)が帰国、市長を表敬訪問されました。2006年3月28日から二年間、酪農開発強化プロジェクトの一環として、同国の牛乳の生産量と質の向上に貢献されました。小路さんは「いい牛乳はいい草作りいい土作り」などと、酪農について談義しました。

## 三谷大希君 春の甲子園に出場

第80回選抜高校野球大会に、東洋大学附属姫路高等学校の三谷大希君(北条町出身)が出場しました。3回戦も大いに活躍し、4強進出を果たしました。現在、夏の大会に向けて、猛練習中です。



打席に立つ三谷大希君 ▶



▲ ボランティアの皆さんにあいさつする園児たち

## 宇仁校区でボランティアによる預かり保育スタート!

5月1日、地域全体の「子育てしやすいまちづくり」を目指して、宇仁校区の皆さんのボランティアによる幼稚園児の預かり保育がスタートしました。

約40人の地域のボランティアが一日2~3人の当番制で宇仁幼稚園の遊戯室を借り実施します。子どもたちは最初、ボランティアの皆さんに照れくさそうでしたが、すぐになじみ、元気いっぱい遊び始めました。